

# 平成28年度予算見積調書

課室名：温暖化対策課

担当名：エコエネルギー推進担当

内線：3068

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B14	二重窓断熱促進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	ヒートアイランド対策推進費		
事業期間	平成28年度～平成30年度	根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律、埼玉県地球温暖化対策推進条例		戦略項目	09	新エネルギー埼玉モデルの構築			
					分野施策	040202	低炭素な暮らしとまちづくりの推進			
<p>1 事業の概要</p> <p>特別養護老人ホームや住宅の窓を二重窓化することによって断熱化を進め、エアコンの使用を効率化し人工排熱を削減する。また、居室内を速やかに涼しく快適にすることによりヒートアイランド現象への適応を図る。</p> <p>(1)老人福祉施設二重窓促進補助 36,297千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 夏季の場合、住宅に入る熱の約70%が窓から侵入している。このため、既築住宅等で比較的手軽に取り組みことのできる二重窓のリフォームは、エアコンの使用抑制と人工排熱の削減効果が大きい。県民の高齢化が進む中、昭和から平成の初めに建設された特別養護老人ホームは、窓の断熱対策が十分でない施設がほとんどである。まずは断熱効果が表れやすい施設である特別養護老人ホームでモデル的に二重窓化を進め、効果を検証する。 老人福祉施設二重窓促進補助 36,297千円 ・特別養護老人ホームへの二重窓設置費補助 9,000千円 × 4施設 = 36,000千円 ・事務費 297千円</p> <p>(2) 事業計画 平成28年度からの3年間事業を実施し、窓の断熱化工事を普及させる。</p> <p>(3) 事業効果 ・ 二重窓の室内側の表面温度は約5℃低減する。また、エアコンを効率的に使用することによって高齢者の熱中症を予防するとともに、人工排熱とCO2排出量の削減にもつながる。 ・ 検証した効果を発信することによって、県内の特別養護老人ホームや住宅への二重窓導入の拡大につなげる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 リフォーム工事業者などとの連携により取組を展開し、効率的なエアコンの使用を促す。</p> <p>(5) その他 なし</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分 (県 1/2) 社会福祉法人等 1/2</p>										
<p>3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分)企画費 (細目)環境保全対策費 (細目)環境保全対策費 (積算内容)地域の実情に応じた環境保全対策</p>										
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円 × 1.0人 = 9,500千円</p>										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
決定額	36,297							36,297	36,297	
前年額										